

## JAにしみの水田農業グリーンな栽培体系研究会（岐阜県大垣市他）

構成員：JAにしみの宮農連絡協議会、西美濃農業協同組合、

岐阜県西濃農林事務所農業普及課

## 背景・課題

水稻、小麦、大豆の2年3作体系で水田経営が行われる本地域では、長年の田畠転換に伴う地力の低下が大豆の収量低下を引き起こす要因となっている。また、近年の肥料高騰や異常気象等の影響で、小麦、大豆では生産費の増加が課題となっており、今後も持続可能な農業経営を行うためには、小麦、大豆の肥培管理を見直し、実需者に評価される収量と品質を確保した上で、環境に配慮した生産体系へ切り替えることが求められている。



## みどり戦略実現に向けて

- 管内全域で土壤診断を実施し、診断結果に基づいた肥料や土壤改良資材の投入を行うことが、資材コストや作業時間の削減に与える効果について検証する。
- 大豆では、堆肥入り資材の活用による地力向上と収量の関係性の調査を実施し、化学肥料削減について検証する。
- 鶏糞・牛糞など家畜由来の堆肥による化学肥料削減効果を検証する。
- 小麦では、基肥で使用するプラスチックコーティング肥料を加水分解性肥料に置き換えることで収量や品質に与える影響を調査し、プラスチック資材からの転換について検証する。



## 環境負荷低減の取組

- 土壤診断に基づいた施肥による化学肥料や土壤改良剤の削減
- 堆肥入り資材や鶏糞・牛糞など家畜由来の堆肥の活用による化学肥料の削減
- 代替資材（加水分解性肥料等）の活用によるプラスチック被覆肥料の削減

## 検討するグリーンな栽培体系

- 省力化：土壤分析に基づく施肥体系の構築（施肥作業時間の削減）
- 化学肥料の使用量削減：堆肥資材、家畜堆肥の導入（化学肥料使用量の削減）
- 温室効果ガス削減：代替資材（加水分解性肥料等）の導入（環境負荷低減）



## ①土壤診断に基づく施肥



## ②土壤改良・堆肥資材等の導入



## ③代替資材（加水分解性肥料等）の導入



## 問い合わせ先

JAにしみの水田農業グリーンな栽培体系研究会 (JAにしみのTAC室)  
電話 0584-71-9174